

自己点検・自己評価報告書

本校は教職員による自己点検・評価を実施し、その結果についてこの報告書にまとめた。

2021年6月4日に学校関係者評価委員会を開催し、当自己点検・自己評価報告書について承認を受けた。

注：昨年度評価より点数の変更があった場合は赤字で表示している



学校法人翔陽学園
成田航空ビジネス専門学校

2021年6月4日作成

成田航空ビジネス専門学校

2021年6月4日

大項目	中項目	評価	総括・特記事項
基準1 教育理念・目的・ 育人人材像	理念・目的・育人人材像は定められているか。	4.8	理念・目的と育成すべき人材像を学校理念として再整理し、分かりやすくかつ具体的に示し、教職員・学生に周知し、定着を推進した。
	学校の特色はなにか。	4.7	航空・ホテル・観光業界を担うことが出来る、自立し実践的な人材を育成する。 1人1人の個性を見極めて、考える力とコミュニケーション能力を育てよう指導した。
	学校の将来構想を抱いているか。	4.7	航空・ホテル・観光業界で活躍出来る実践的な人材を育てる事により、社会的に信頼される専門学校を目指すとともに、社会の進歩発展に貢献することを明示した。
	全体	4.7	
基準2 学校運営	事務管理費の効率的な支出を行う。	4.6	コストパフォーマンスに鑑み、より効率的な予算執行を心がけた。銀行振込手数料について通常振込はネット銀行経由、給与振込は代行サービスを経由することで大幅な経費削減を図った。 施設・備品の老朽化と学生数増加に対応する為、より費用対効果の高いもの、より優先度の高いものから支出した。
	各種規程類の見直しおよび整備を行う。	4.7	就業規則を中心に見直し、必要な改訂を行った。 寄附行為については2020年4月施行の改正私立学校法に沿った見直しを行った。
	自己点検・自己評価の確実な実施と第三者評価に対応した評価システムへのステップアップに対する準備	4.5	自己点検・自己評価は2013年度より継続して実施しており、ほぼ定着している。 昨年度より学校関係者評価委員会での審議を経て公開することとしたが、今後は分野別の第三者評価の体制および詳細内容を見ながら更に透明性の向上に努めたい。
	全体	4.6	
基準3 教育活動	事務処理の迅速化・効率化。業務スケジュールをスタッフ間で共有し、お互いにサポートできる体制とする。	4.3	コロナ禍により例年になく対応を迫られることが多かったが、都度、迅速に情報共有を行いスムーズな運営を図った。
	英語力アップ。	4.3	コロナ禍により課題学習中心となった前期の遅れを取り戻すため、夏季休暇に追加課題を与えてオンラインによるサポートを行うことで英語力アップに繋がった。
	就職に役立つ各種検定・資格取得を積極的に受けるよう指導する。	4.3	コロナ禍の影響で、各種検定・資格取得試験が例年通り受検できない状況下、計画的な指導が困難であった。(実施されない、スケジュールの大幅な変更、抽選制度などの理由による)

評価 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない

成田航空ビジネス専門学校

2021年6月4日

大項目	中項目	評価	総括・特記事項
	授業内容を強化する。	4.3	コロナ禍により学習活動は、課題学習・オンライン授業・対面授業の3通りの形式で実施した。
			オンライン授業では、従来の対面授業のクオリティーを十分に発揮できたとは言いがたいものの、試行錯誤を含む努力を重ねることで、最大限近づけることを目指した。
	対面授業の機会が例年と比べ大幅に減ったが、学生および担当講師による授業アンケートは例年通り実施し、概ね問題がないことを確認した。ただし、一部に問題が認められる担当講師には必要な指導を行った。		
	カリキュラムの内容を、コースの目標を達成する為により実践的な内容にupdateする。	4.3	コロナ禍の中ではあったが、実習場を利用するグラント・ハンドリング研究講座を開講し、GSEを使った実践的実習を開始した。
			就活研究セミナーを開講し、就職試験対応を含む就職活動に役立つ実践的な知識・技能を身につけさせることができた。
	全体	4.3	
基準4 教育成果	資格取得率の向上が図られているか。	4.3	コロナ禍の影響で本校の学生にとってメインの資格である英検・TOEIC試験が、実施日の大幅な変更や抽選受験制度が導入されるなど、受験しにくい環境となってしまった。
			全体に合格率が伸び悩んだことから、英検2級クラスの学生数が肥大したため2クラスに分割し、少人数クラスとしてより密度の高い指導を行うことで合格者数の積み増しに繋がった。
	退学率の低減が図られているか。	2.0	主に航空観光分野において雇用差し控えの動きが目立ち、将来に対する不安感から退学者は10名(11.9%)へと大幅に増加するにいたった。
	全体	3.2	
基準5 学生支援	「2020年度 年間計画表」に基づいて実施。	4.8	登校日数が少なかった時期や長期休暇などに、Classiの学習記録システムやオンライン面談を実施し、学校との関りを強く意識させることで学校離れを防ぐように努めた。
	より密度の高い学生支援の実施	4.9	1学年を3クラス編成へと変更し、担任一人あたりの学生数を25～28名に抑えることで、よりきめの細かい学生指導・学生支援を実現した。
	就職指導の効果的・効率的実施。	4.8	面談、進路相談を継続的に実施、学生が内面・外観共に成長出来るよう指導した。
			内定後もモチベーションを高め、更に資格取得、レベルアップを目指させ、効果を上げた。
	クライアントの定期訪問と新規開拓の実施。	4.4	コロナ禍で定期訪問は難しかったが、電話連絡やオンラインでの面談等による関係強化に努めた。ナリビ生が各企業で活躍し、離職率も低い事が評価されているため、企業との信頼関係は良好に保てた。ただし、コロナ禍での航空業界での採用数縮減の影響が大きく、他分野への就職が大幅に増加するとともに、結果として新規就職先も増加した。

評価 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない

成田航空ビジネス専門学校

2021年6月4日

大項目	中項目	評価	総括・特記事項
基準5 学生支援	就職率達成目標(100%)を目指す。	4.0	コロナ禍による航空・観光分野の採用数縮減から、希望分野への就職が叶わなかった学生が就職を先送りしたこともあり、就職内定率は95%に留まった。
	CA合格者	4.0	2020年度卒は1名がCAに採用された。
	全体	4.5	
基準6 教育環境	学校を取巻く環境の変化に伴う、学校施設(教室備品等)および、規則(利用、運用規則等)等の検討整備を行う。	4.7	6月に成田市吉岡に実習場を竣工した。グランドハンドリング(GH)コースの実習で活用する他、一般向けのフォークリフト技能講習資格を取得した。加えて学内行事や学生募集にも活用している。 今後更に、より質の高い教育環境を提供出来るよう、施設、運用の改善を図る。 学校内でICTとしてClassiを活用しているが、サポート体制の問題から後継ICTの検討に入った。
	全体	4.7	
	専門学校の定員を確保する。	3.5	2020年度定員は100名×2学年の計200名であるが、新入生は78名に留まるとともに2年生は退学者の増加で74名に減少し、合計で152名となった。2021年度も航空・観光業界の不振から厳しい状況が予想されるが、意欲・学力の高い学生を集める。
基準7 学生募集と受け入れ	オープンキャンパスは平日は随時受付、平日夜間・土曜にも開催し、生徒・ご父兄の利便を優先して柔軟に対応する。	3.5	コロナ禍による緊急事態宣言などによりオープンキャンパスは大きな制約を受け十分に実施することができなかった。しかしながら可能な範囲で工夫しながら実施するとともに、オンラインで積極的に対応した。
	高校内での学校説明会・留学生対象の説明会への参加	3.5	高校内説明会もコロナ禍により中止が相次いだ。2022年度は学校訪問の体制を強化することで、千葉県・茨城県の重点校を中心に積極的に対応していく。
	紙媒体を減らし、ホームページ、SNSを活用する。	4.8	HP、スマホサイト、Facebook、Twitterと連携させてアピールした。なお、HPに学校紹介動画と、360度パノラマビューで校舎・実習場・女子寮を掲載し、広く学校の施設やイメージを見てもらえる環境を整え、オープンキャンパスや学校説明会の補完を図った。
	学校訪問のプライオリティー付け。	4.0	対象校を過去の入学実績等で区別し重点校を中心に対応した。
	全体	3.9	
基準8 財務	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4.2	2020年度は基本財産組み入れを除けば黒字を確保することができた。公津の杜施設も建築後20年を経過しているため老朽化対策を図っていくために財務基盤をより強固にしておく。
	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4.6	学校の財務体質を強化しつつ、品質をあげる事を目指して年度予算を作成している。
	全体	4.4	

評価 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない

成田航空ビジネス専門学校

2021年6月4日

大項目	中項目	評価	総括・特記事項
基準9 法令等の遵守	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4.8	法令、設置基準に抵触する事例はなく、適正に運営した。
	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4.7	個人情報を取り扱う部署に対する教育・指導を実施し、情報漏えいは発生しなかった。
	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。	4.8	各年度始めに事業計画を策定し、年度を通じて着実に施策を実施していくことにより課題の克服と改善に繋げている。2013年度より教職員による自己点検・自己評価を継続して実施し、2020年度よりは学校関係者評価委員会で審議を頂くことで透明性と客観性の確保に努めている。
	自己点検・自己評価結果を公開しているか。	4.8	自己点検・自己評価の結果をホームページで公表している。
全体		4.8	
基準10 社会貢献	地域の行事に積極的に参加し、活性化に寄与すると共に学生に社会との関わりを認識させる。	2.0	コロナ禍で地元のお祭りなどの行事が軒並み中止となり、学生が参加する機会が得られなかった。
	英会話教室等を開設し、国際人を育てる事に貢献すると共に、企業等に対してもマナー教育、語学研修等を行い社会貢献しているか。	4.0	周辺地域の方々に認知されてきたことから会員数はこれまで増加傾向にあったが、年度末のコロナ禍影響から新規会員獲得が進まず、結果として幼稚園生を中心に合計32名の会員数減となった 成田国際文化会館と協力して「はじめての英会話」「おもてなし英語」に加え、「初級中国語」を引き続き開講し、7名に参加いただいた。
			企業や教育機関へのマナーや英語教育についてもコロナ禍で中止が相次ぎ、3つの企業様への出張授業の実施に留まった。地元の4つの幼稚園での出張授業は長期にわたり継続していただいている。
全体		3.0	

評価 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない

自己評価における特記事項

自己評価は学校経営目標・運営実施目標に基づく業務実施計画書に年度達成目標が、どの程度達成されているかを分野別に抜粋したものです。

※別添資料1 専門学校学生数の推移

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
入学生	81	76	58	60	80	84	78
進級者	70	77	65	60	52	76	74
在籍数	151	153	123	120	132	160	152

復学者2名を含む

※別添資料2 平成29年度卒業生就職先

CA	スカイマーク	1		
			小計	1
GS	JALスカイ	5	航空保安事業センター<空	3
	ANA成田エアポートサービス	8	JSS<空港保安>	2
	空港ターミナルサービス	2	にしけい<空港保安>	3
			石井管理ビル<仙台空	1
			小計	24
AC	NCAジャパン	1	日新エアコー	1
	JALカーゴサービス	5		
	阪急阪神ロジサポートナース	1		
			小計	8
GH	JALカーゴハンドリング	1	ANA成田エアポートサービス	3
	日本空港サービス	2	JALグラントサービス	5
	CKTS	1		
			小計	12
HT	日本ホテル	3	共立メンテナンス	2
	星野リゾート	1	ウエスト・クリエイティブ・ジャパ	1
	森ビルホスピタリティ	1		
	パークハイアット東京	1		
	グランベルホテル	1		
			小計	10
その他	ニチイ学館	2	上杉物産	1
	ホピンス	2	マリークワント	1
	自衛隊	2	コウメイハウス	1
	ホイスプラス沖縄	1	栄仮設工業	1
	スタッフサービス	1		
アニメイト	1		小計	13
合 計				68

※ 留学・進学 5名
未定 3名

※別添資料3

資 格			2018年度生		2019年度生	
英語	TOEIC	700以上	6	8%	7	9%
		600-695	6	8%	7	9%
		500-595	14	18%	7	9%
		400-495	13	17%	1	1%
		395以下	23	30%	11	15%
	英検	1級	1	1%	0	0%
		準1級		0%	5	7%
		2級	32	42%	24	32%
準2級		17	22%	27	36%	
	3級	13	17%	4	5%	
中国語	HSK	初級	1	1%	0	0%
韓国語	TOPIX ハングル	中級		0%	0	0%
		上級	2	3%	0	0%
日本語(留学生対象)		1級	1	1%	0	0%
PC	PC II 種	1級		0%	0	0%
		2級		0%	1	1%
		3級		0%	4	5%
	Amadeus	EXP		0%	0	0%
		SPL		0%	0	0%
サービス	サービス接遇検定2級		3	4%	12	16%
	3級		2	3%	3	4%
	ホテル実務 Basic 2級			0%	0	0%
	日赤救急法		68	89%	0	0%
	アソシエイトホスピタリティ			0%	0	0%
	サービス介助士		27	36%	8	11%
IATA DIPLOMA			0%	0	0%	

※別添資料4

収益事業会員数(年度末実働数)

	2017	2018	2019	2020
合計	537	555	499	467
幼児	74	67	67	53
小学生	272	310	216	208
中・高生	96	87	143	138
成人	95	91	73	68